

『新しい課題に挑戦』テーマ

CAL研究会 唐津市で勉強会

【唐津市＝佐賀】C

AL研究会は7月24日、25日、佐賀県唐津市で「CAL研究会」(勉強会)を開催し、全国から参加者が集った。

初日には同会の生川正洋氏が「組織強化のため、新しい課題に挑戦しよう! 女性活用を考える」をテーマに講演。冒頭、2022年8月に亡くなった平岡石油店(同市・平岡

恵巳代表取締役)の平

岡務前代表取締役を追悼し「平岡さんはわれわれの仲間、本当にいい人だった。今は

(平岡)司さん(専務取締役)が跡を継ぐため、現社長を支えて、平岡石油店の経営を勉強している。平岡さん、きょうは一緒に司さんの話を聞いてほしい」と述べ、参加者全員で黙とうした。

続いて国内外の情勢

や石油を取り巻く環境を解説したうえで「これから先、SSが生き残るためには組織力の強化と収益力の向上が必要」と指摘。同会の各種サービスを踏まえ

たうえで「組織体制の強化、収益力の向上とひと口に言っても、内容は多岐に渡り、取り組むことは容易ではない」と強調。SSの体

質改善が急務だとし、

女性の戦力化について重要性を説いた。また智頭石油(鳥取県智頭町)の米井哲郎

取締役会長と中本智昭専務取締役が「積極的な新しい事業に取り組む」と題し、車買い取り事業などの取り組みを紹介。平岡石油店の平岡専務が「当社の将来へ向けた事業展開」として、現在の実

績と今後に向けた展望を語った。

2日目には山下石油(京都府南丹市)の山下真司代表

取締役社長

が「新たな時代に向けて」と題

し、女性アルバイトの活用など同

社の取り組みや中古車販売の有効

性などを説明した。

続いて目

見田商事

(兵庫県宝塚市)の目

見田純也代

表取締役社長が接客の意識や、顧客に対する感謝の大切さなどを力説した。



2日間の登壇者ら